

誰でも使えるアセスメントシート

神奈川県横浜市
ニチイケアセンター鶴見中央
職員 小嶋 哲彦

1 はじめに

誰でも（関係者全て）使えるアセスメントシートはないのでしょうか？

- ・ 当事者も参画できる
- ・ 当事者・家族等にも納得できる
- ・ サービス提供者も記入しやすい
- ・ ケースワーカー、ケアマネジャー、相談員も使える
- ・ 追加、更新もしやすい

2 アセスメントシート開発の経緯

これまでの問題点は

- ・ シート数が多くて時間がかかる
- ・ サービス事業者ごとでシートが違う
- ・ 課題が見えにくい
- ・ 視覚的・直感的に理解しにくい
- ・ 情報共有がしにくい
- ・ 利用者・家族の気持ちがよく分からない
- ・ 一度作成してそのままになっている

そこで

- ・ 情報共有できる
- ・ 会議に使える
- ・ 当事者・家族の気持ちが理解できる
- ・ 経緯がわかる
- ・ 今後の課題を見つけやすい
- ・ 継続的に関係者が支援していくツールにする

3 考察

実際に利用してみると、当事者・家族等へのアプローチのアイデアがでるようになった。

簡単に記入できる。特に気持ち・会話の部分が重要であることに気がついた。

多職種でも、記入しやすい。職種の違いをあまり意識せずに情報共有できる。

シート1枚なので、定期的な見直しも簡単にできる。

但し、問題点もあります。それは視覚的・直感的なツールなので視覚障がい者にとっては理解しにくい。認知症等の精神疾患の当事者にとっては言葉を適切に使わないと納得されない。

データを蓄積していけばビッグデータの解析が可能になるかもしれません。そうなれば、多くの課題を解決する手段が明確になるかもしれません。

4 おわりに

このような機会に発表の機会を得られましたことを、関係者の皆様に感謝します。開発したシートは、使いやすいように皆様が改良して、わいわいがやがや話し合う機会が増えれば幸いです。